

かなざわ じょうかまち いせき (まえだし(ながたねけい)やしきあと ちく)

金沢城下町遺跡 (前田氏(長種系)屋敷跡地区)

概要

前田氏(長種系)は加賀藩の重臣である八家のうちのひとつです。同家ははじめ金沢城内に屋敷がありましたが、寛永8・12年(1631・35)の大火によって城下町の大半が焼失した後、この地を整地して寛永16年(1639)に移転しました。以後、明治4年(1871)までこの場所に屋敷を構えていました。

平成8年(1996)の調査では、縄文・弥生・奈良・平安時代の遺構が見つかりました。江戸時代の遺構には、大火の前に存在していた町屋と前田氏の屋敷跡があります。

今回の調査地点は、絵図によると「御子様方御部屋」に面した庭にあたるとおもわれます。

場所

金沢市大手町1番地内

調査期間

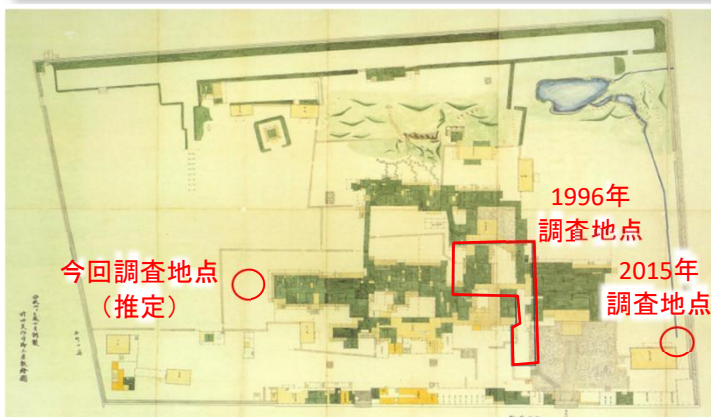
令和8年9月

時代

江戸時代



調査風景



「前田美作守邸図」 安政4年(1857) 金沢市立玉川図書館蔵